

令和2年度

大学院医工農学総合教育部
修士課程(工学専攻)学生募集要項
【追加募集】

Web出願を実施しています。

出願期間 令和元年12月30日(月)～令和2年1月9日(木) 17時まで

出願期間内に「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。

Web出願サイト：<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>



山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

Web出願利用ガイド

本学ではWeb出願を実施しています。Web出願では入力内容が自動でチェックされますので、記入漏れや入力ミスの心配がありません。また、募集要項や願書の取り寄せは不要となり、出願期間中24時間いつでも登録が可能です。さらに、入学検定料はクレジットカードやコンビニエンスストアで支払うことができます。

STEP 1

Web出願の事前準備

①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビシステム社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「成績証明書」および「英語外部試験の成績」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身大学等や各発行機関に申請手続きをしてください。

「志望理由書」などの様式は、出願期間前から本学ホームページよりダウンロードが可能です。

⑤市販の角型2号封筒・374円分の郵便切手

封筒は出願書類の送付に必要です。切手は374円分を過不足なく用意してください。
※日本国外から出願する場合は不要です。

⑥写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4:横3(縦800ピクセル×横600ピクセル以上)、JPEG形式の写真を用意してください。



STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

入試情報の登録 ※ここからは出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って入試情報(入試種別、志望コース等、写真など)を登録してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①コンビニエンスストア、②金融機関ATM(Pay-easy)、③ネットバンキング、④クレジットカードのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。支払い方法によって入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。
※日本国外から出願する場合はクレジットカードのみです。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。用意しておいた封筒に「封筒貼付票」を貼り、「出願書類等チェックリスト」で出願書類が全て揃っているか確認しながら書類を入れ、山梨大学入試課に提出してください。

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ

山梨大学入試課 ☎055-220-8046

✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

目 次

アドミッションポリシー	1
1 概要	3
2 追加募集	
推薦特別選抜学生募集要項	5
一般選抜学生募集要項	11
社会人特別選抜学生募集要項	21
共通事項	27
3 コース内容	29

所定の様式

様式1 推薦書（推薦特別選抜のみ）

様式2 志望理由書

様式3 研究計画書（各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて作成すること）

様式4 研究業績調書（社会人特別選抜のみ）

様式5 入学試験出願資格認定審査調書（事前に出願資格審査の対象となる方のみ提出）

※ 様式は、出願期間前から下記の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

《問い合わせ先》

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

平日（月～金）8時30分～17時（土・日曜日、祝日、年末年始（12/28～1/5）を除く。）

《アドミッションポリシー》

◇ 大学院医工農学総合教育部修士課程の理念・目標とアドミッションポリシー

[理念・目的]

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

[教育目標]

専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人材の養成を目指します。

[アドミッションポリシー]

専門領域の基礎的学力を持ち、さらなる知識の修得意欲があり、高度の研究や応用を目指し、その成果を社会に還元しようとする人を求めます。

工学専攻

志望するコースに関連する専門分野の基礎知識を有しコース専門科目を履修することが可能と判断され、かつ、修了後は工学系高度専門職業人として産業分野で活躍しようとする意欲がある方、あるいは博士課程に進学し研究人材として活躍しようと考えている方を求めます。入学試験においては、専門基礎知識と修士課程での研究計画、学修意欲を判定します。

・ 機械工学コース

機械工学コースでは、ものづくりを支える工学の基盤に位置付けられる機械工学分野における高度専門職業人の輩出を目的としていますので、以下に示すような基礎的な知識や能力を備えるとともに、高い向上心を有する学生を求めます。

- (1) 学士課程において、機械工学に関連する基礎的な専門知識や基本技術を修得した方
- (2) 機械工学のみならず工学全般について強い関心を持ち、ものづくりを通じて多様化する社会の要請や新たな社会の創成に貢献しようとする強い意欲がある方
- (3) 日本語あるいは英語で機械工学分野の内容を他者にわかりやすく説明するとともに、内容について深く議論しようとするコミュニケーション能力の向上を目指す方

・ 電気電子工学コース

未知の事柄にも恐れずに挑戦し電気電子工学分野の学術研究を深めること、または、電気電子工学技術を駆使して現代社会が直面する課題の解決に取り組むことに意欲があり、以下の知識・力を備えた学生を求めます。

- (1) 電気電子工学の根幹をなす電気回路、電子回路、電磁気学の基礎知識
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論する力
- (3) 電気電子工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力

・ コンピュータ理工学コース

情報理工学に関する高度かつ先端的な理論や技術とともに俯瞰的なものの見方を身につけ、新たな技術を生み出すために必要となる理学的分析力や探究心、問題解決能力や工学的デザイン力を備え、幅広い情報応用分野で活躍する意欲があり、以下の知識・力を備えた学生を求めます。

- (1) アルゴリズムとデータ構造及びプログラミングの基礎知識を正しく身につけていること
- (2) 情報数学、計算機アーキテクチャ及びオペレーティングシステム、データベース、コンピュータネットワーク、ソフトウェア工学といった、コンピュータ理工学の基礎知識を正しく身につけていること
- (3) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について技術的観点を中心に論理的に議論できること
- (4) コンピュータ理工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力を備えていること

・ メカトロニクス工学コース

機械・電気・情報の総合的分野であるメカトロニクス工学分野の知識や技能に基づいた協働開発能力を持ち、これらに基づいた問題発見能力、コミュニケーション能力、技術活用能力を発揮して「ものづくり」開発の中心的役割を果たすとともに、これを通じて社会の課題の解決に貢献しようとする人を求めます。

- (1) 線形代数、微分積分、微分方程式に関する基礎知識を身につけていること

- (2) 材料力学・機械力学、プログラミング、デジタル回路、制御工学のうち、少なくとも1分野の基礎知識を身につけていること
- (3) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論ができること
- (4) メカトロニクス工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力を有すること

・ 土木環境工学コース

土木環境工学が直面する工学的・社会的な課題に強い関心を持ち、その解決を目的とした実践的研究や、土木環境工学分野の技術的な発展・展開に対する学術研究に取り組む意欲があり、以下の知識・能力を備えた学生を求めます。

- (1) 土木環境工学の主要分野である構造力学、水理学、土質力学、土木計画学、土木材料学、環境システム工学等基礎知識が身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について深く議論することができること

・ 応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学など応用化学の基幹分野に関する高度な専門知識を備え、国際的視野を持って創造的に研究・開発を推進し、広い視野と俯瞰的な視点をもって社会を牽引するイノベーション創出に貢献しようとする人を求めます。

- (1) 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論することができること
- (3) 応用化学分野の学部卒業生として必要な英語によるコミュニケーション能力を備えていること

・ 先端材料理工学コース

フォトニクスやエレクトロニクス新素材、量子デバイスや新機能ナノデバイスなどに関する基礎研究、あるいは応用開発研究を行うための基礎学力・素養・教養を持ち、問題解決に向けて自ら取り組む意欲のある人を求めます。具体的には、以下の基礎学力と能力・資質を有する人を求めます。

- (1) 学部レベルの数学、物理学、化学の基礎学力を身につけていること
- (2) 広い視野に立ち、物事を柔軟に考えることができる素養を持っていること
- (3) 研究分野の内容を深く考え、その本質や問題点を日本語、または外国語で他の人と論理的に議論しようという意欲・能力を有すること

・ 流域環境科学特別教育プログラム

洪水や渇水の可能性、水資源の保全と最適配分、汚染の発生源と発生機構の解明、地域に適した飲料水や排水の浄化技術の開発、健康や社会経済的影響の評価など、世界各地で起こっている多様な水・環境問題の解決に取り組む意欲があり、以下の知識・能力を備えた人を求めます。(本プログラムの博士課程と連携しています。)

- (1) 水文学、水質学、微生物学、環境工学、公衆衛生学などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について深く議論することができること

・ グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

燃料電池、太陽電池、水素製造、熱電変換などの多様なグリーンエネルギーの変換と貯蔵に関する広い視野角の知識と先端技術、英語コミュニケーション能力と討論力などを習得し、低炭素社会の実現に向けて関連産業界等でグリーンイノベーションの創出に貢献して国際的に活躍する強い意欲があり、以下に示すような基礎的な知識や能力を持った人を求めます。

- (1) エネルギー変換工学の基盤となる、化学(物理化学、無機化学など)あるいは物理・電子物性などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論することができること
- (3) 学部卒業生レベルの英語の読解力とコミュニケーション能力を備えていること

概 要

1 募集人員

募集区分等 コース等	募 集 人 員		
	追加募集 (令和2年4月入学 令和2年10月入学)		
	推 薦 特別選抜	一般選抜	社 会 人 特別選抜
機 械 工 学 コース	/	若干人	若干人
電 気 電 子 工 学 コース	/	若干人	若干人
コンピュータ理工学コース	若干人	/	/
メカトロニクス工学コース	/	若干人	若干人
土 木 環 境 工 学 コース	/	若干人	若干人
応 用 化 学 コース	/	若干人	若干人
先端材料理工学コース	/	若干人	若干人
流域環境科学 特別教育プログラム	/	若干人	若干人
グリーンエネルギー 変換工学特別教育プログラム	/	若干人	/

2 日 程

【追加募集（令和2年4月入学・令和2年10月入学）】

項 目		募集区分	推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
		出願時までに、希望する指導教員と事前打ち合わせを行ってください。			
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前に出願資格の審査が必要です。各募集要項で確認し、出願資格審査の申請期間内に審査に必要な書類を提出してください。			
出 願 期 間		令和元年12月30日（月）～令和2年1月9日（木） 出願期間内に「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。			
試 験 日		令和2年2月1日（土）			
合 格 者 の 発 表		令和2年2月7日（金）			
入学手続	令和2年4月入学	令和2年3月9日（月）～3月15日（日）			
	令和2年10月入学	令和2年9月11日（金）			

追加募集

(令和2年4月入学・令和2年10月入学)

推薦特別選抜学生募集要項

現在、科学技術の進展と広がり著しく、社会的要請として既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野及び新研究分野の創造が望まれています。

この視点から、本修士課程（工学専攻）では、特色ある教育と研究の場の提供をめざして、各専門分野または各専門分野を超えた学問・研究に取り組む積極的、意欲的な学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

コース名	募集人員
コンピュータ理工学コース	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、出身大学等において優秀な成績を修め指導教員等から本人の能力について推薦を得られる方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方で、令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

【注1】 上記の(7)により入学を志願しようとする方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について12月11日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

【注2】 外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本要項6ページ「3 出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等（該当する方のみ）

（1） 外国人（留学生）の出願資格の審査

外国人（留学生）で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、「2 出願資格」の(1)に該当する方（国費、政府派遣、私費を問いません。）については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生（国費、政府派遣、私費）及び令和2年度後期募集入試までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合があります。事前に工学域支援課教務グループ（電話：055-220-8738）にお問い合わせください。

出願資格の審査結果は、12月27日（金）までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず申請期間内に願出完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ①入学試験出願資格認定審査調書（様式5）
- ②卒業（見込）証明書等および成績証明書等（出身大学長等が作成したもの）
- ③推薦書（様式1）
- ④志望理由書（様式2）
- ⑤研究計画書（様式3）
- ⑥英語外部試験の成績（本要項7～8ページ「5 出願書類」参照）
- ⑦住民票（日本国内に住民登録をしている方）または旅券の写し（日本国内に住民登録をしていない方）*本要項7～8ページ「5 出願書類」参照

イ 申請期間

令和元年12月16日（月）～12月20日（金） 17時まで *期間内必着

① 日本国内から出願する方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の平日（休日・祝日を除く）9時から16時30分の間に教学支援部入試課窓口に提出してください。

② 日本国外から出願する方

EMSやDHL等の確実に届く方法で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

（2） 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、12月13日（金）までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

提出先・問い合わせ先： 教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

4 出願手続

（1） Web出願の事前準備（以下の①～⑥を準備してください）

- ①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット端末
- ②A4サイズの印刷が可能なプリンター
- ③利用可能なメールアドレス（設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可してください）
- ④顔写真の画像ファイル
- ⑤374円分の郵便切手（受験票送付用） *日本国外から出願する方は不要
- ⑥出願書類の提出に必要な市販の角型2号封筒（24cm×33.2cm） *日本国外から出願する方は不要

(2) 出願方法

① Web出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※ 出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合、出願を受け付けすることはできません。

(3) Web出願サイト

以下のURLからアクセスし、画面の案内に従って、利用者情報・出願情報の登録をしてください。

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

(4) 入学検定料の支払いについて

入学検定料 30,000円

1. 「検定料の支払い」画面で以下の①～④の中から支払方法を選択してください。日本国外から出願する方の支払方法は、クレジットカードのみです。支払方法によって、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

① コンビニエンスストア、② 金融機関ATM (Pay-easy)、③ ネットバンキング、④ クレジットカード

2. 全ての支払方法に対して、別途必要な手数料は志願者負担になります。

3. いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」・「平成28年熊本地震」・「平成30年7月豪雨」・「平成30年北海道胆振東部地震」・「令和元年台風第15号及び第19号」による被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へお問い合わせください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) で確認してください。

(5) Web出願に関する問い合わせ先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※ 土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)は、お問い合わせの対応ができません。

5 出願書類

・出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。

・英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

NO	提出書類	摘要
1	卒業(見込)証明書 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・「2 出願資格」の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。

4	推薦書	本学ホームページから【推薦書(様式1 [※])】をダウンロードし、出身大学等の指導教員等が作成したものを厳封して提出してください。 なお、本学を卒業した方及び卒業見込みの方は、【推薦書(様式1 [※])】の所見及び推薦理由等の欄は省略することができ、厳封する必要はありません。
5	志望理由書	本学ホームページから【志望理由書(様式2 [※])】をダウンロードし、パソコンで作成してください。
6	研究計画書	本学ホームページから【研究計画書(様式3 [※])】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。
7	英語外部試験の成績	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の写しを提出してください。ただし、いずれも平成30年1月以降に受験したものに限りです。 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate または Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Examinee Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TEST SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic module に限る)
8	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本国内から出願する方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼り付けてください。郵便切手は過不足なく用意してください。 ▪ 日本国外から出願する方 郵便切手は必要ありません。Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】のみ提出してください。
9	住民票 *国籍が日本国以外の方のみ提出	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 住民登録をしている方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ▪ 住民登録をしていない方 旅券の写し(顔写真のページと、既に来日している場合は入国日が分かるページ)を提出してください。
10	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※様式1～3は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>大学院入試>募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

6 出願期間等

(1) 出願期間

令和元年12月30日(月)～令和2年1月9日(木) 17時まで *期間内必着

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受け付けすることはできません。

(2) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】で、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

郵送する場合は、郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

① 日本国内から出願する方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角型2号封筒(24cm×33.2cm)に貼ってください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の平日(土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)を除く)9時から16時30分の間に教学支援部入試課窓口に提出してください。

② 日本国外から出願する方

EMSやDHL等の確実に届く方法で本学へ郵送してください。その際、Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を同封してください。

(3) 出願書類の提出先・問い合わせ先

教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
電話：055-220-8046

※土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)は、お問い合わせの対応ができません。

【出願書類の提出に際しての留意事項】

1. 出願に先だって、**希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。**
2. 出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
3. 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所・連絡先以外の出願情報等の登録内容の変更は認めません。また、出願書類の返還及び変更も認めません。
4. 出願情報等に事実との相違が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
5. 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課に照会してください。

7 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

ノートパソコンを持参のうえ、プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用い、志望理由書と研究計画書に基づいて口頭発表を行ってください。口頭発表の内容および関連する基礎学力・専門知識等について試問します。

・口述試験時間

コース名	口頭発表時間	試問時間	備考
コンピュータ理工学コース	10分	15分	書類審査ないし予備面接(注)の結果、口述試験を免除する場合があります。

(注) 海外に在住の方に限り、出身大学の指導教員又は所属長の推薦書を提出できる方について、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

(2) 出願書類の審査

【配点】

コース名	口述試験	出願書類
コンピュータ理工学コース	適・否	適・否※

※出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

8 試験日時及び場所

試験開始 20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後 30分以内に限り、受験を認めます。

(1) 試験日時

試験日：令和2年2月1日（土）

コース名	試験時間	試験科目
コンピュータ理工学コース	14時00分～	口述試験

(2) 集合場所

コース名	集合場所	試験会場
コンピュータ理工学コース	A-2号館A2-11教室	コース会議室等

一般選抜学生募集要項

1 募集人員

コース等名	募集人員
機械工学コース	若干人
電気電子工学コース	若干人
メカトロニクス工学コース	若干人
土木環境工学コース	若干人
応用化学コース	若干人
先端材料理工学コース	若干人
流域環境科学特別教育プログラム	若干人
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方で、令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに授与される見込みの方
- (7) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和2年3月(令和2年10月入学希望者は、令和2年9月)までに修了見込みの方
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注1】上記の(9)または(10)により入学を志願しようとする方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について12月11日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

【注2】外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本要項12ページ「3出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等(該当する方のみ)

(1) 外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、「2出願資格」の(1)に該当する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生(国費、政府派遣、私費)及び令和2年度後期募集入試までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合があります。事前に工学域支援課教務グループ(電話:055-220-8738)にお問い合わせください。

出願資格の審査結果は、12月27日(金)までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず申請期間内に出願手続を完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ①入学試験出願資格認定審査調書(様式5)
- ②卒業(見込)証明書等および成績証明書等(出身大学長等が作成したもの)
- ③志望理由書(様式2) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ④研究計画書(様式3) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ⑤英語外部試験の成績 *本要項14ページ「5出願書類」参照
- ⑥住民票(日本国内に住民登録をしている方)、または旅券の写し(日本国内に住民登録をしていない方) *本要項14ページ「5出願書類」参照

イ 申請期間

令和元年12月16日(月)～12月20日(金) 17時まで ***期間内必着**

① 日本国内から出願する方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の平日(休日・祝日を除く)9時から16時30分の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。

② 日本国外から出願する方

EMSやDHL等の確実に届く方法で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

(2) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、12月13日(金)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

提出先・問い合わせ先: 教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話:055-220-8046

4 出願手続

(1) Web出願の事前準備 (以下の①～⑥を準備してください)

- ①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット端末
- ②A4サイズの印刷が可能なプリンター
- ③利用可能なメールアドレス (設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可してください)
- ④顔写真の画像ファイル
- ⑤374円分の郵便切手 (受験票送付用) *日本国外から出願する方は不要
- ⑥出願書類の提出に必要となる市販の角型2号封筒 (24cm×33.2cm) *日本国外から出願する方は不要

(2) 出願方法

① Web出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※ 出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合、出願を受け付けすることはできません。

(3) Web出願サイト

以下のURLからアクセスし、画面の案内に従って、利用者情報・出願情報の登録をしてください。

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

(4) 入学検定料の支払いについて

入学検定料 30,000円

1. 「検定料の支払い」画面で以下の①～④の中から支払方法を選択してください。日本国外から出願する方の支払方法は、クレジットカードのみです。支払方法によって、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

① コンビニエンスストア、② 金融機関ATM (Pay-easy)、③ ネットバンキング、④ クレジットカード

2. 全ての支払方法に対して、別途必要な手数料は志願者負担になります。

3. いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」・「平成28年熊本地震」・「平成30年7月豪雨」・「平成30年北海道胆振東部地震」・「令和元年台風第15号及び第19号」による被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へお問い合わせください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) で確認してください。

(5) Web出願に関する問い合わせ先

教学支援部入試課 電話 : 055-220-8046

E-mail : web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※ 土・日曜日、祝日及び年末年始 (12/28～1/5) は、お問い合わせの対応ができません。

5 出願書類

- ・出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- ・英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業(見込)証明書 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・「2 出願資格」の(2)、(6)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	志望理由書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【志望理由書(様式2*)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。
5	研究計画書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【研究計画書(様式3*)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。
6	英語外部試験の成績 * グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志願する方は提出不要	<p>下記の①～⑤のうちいずれかの書類の写しを提出してください。ただし、いずれも平成30年1月以降に受験したものに限りません。</p> <p>なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate または Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Examinee Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TEST SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本国内から出願する方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼り付けてください。郵便切手は過不足なく用意してください。 ▪ 日本国外から出願する方 郵便切手は必要ありません。Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】のみ提出してください。
8	住民票 * 国籍が日本国以外の方のみ提出	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 住民登録をしている方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ▪ 住民登録をしていない方 旅券の写し(顔写真のページと、既に来日している場合は入国日が分かるページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※様式2と様式3は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>大学院入試>募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

6 出願期間等

(1) 出願期間

令和元年12月30日(月)～令和2年1月9日(木) 17時まで *期間内必着

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受け付けすることはできません。

(2) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】で、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

郵送する場合は、郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

① 日本国内から出願する方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角型2号封筒(24cm×33.2cm)に貼ってください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の平日(土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)を除く)9時から16時30分の間に教学支援部入試課窓口に出してください。

② 日本国外から出願する方

EMSやDHL等の確実に届く方法で本学へ郵送してください。その際、Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を同封してください。

(3) 出願書類の提出先・問い合わせ先

教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

※ 土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)は、お問い合わせの対応ができません。

【出願書類の提出に際しての留意事項】

1. 出願に先だて、**希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。**
2. 出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
3. 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所・連絡先以外の出願情報等の登録内容の変更は認めません。また、出願書類の返還及び変更も認めません。
4. 出願情報等に事実との相違が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
5. 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課に照会してください。

7 選抜方法

各コース・教育プログラムの選抜方法については、次の事項に注意してください。

- (1) 出願書類受理後は、志望コース・プログラム及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 辞書及び参考書等の持ち込みは一切認めません。
- (3) 18ページに配点を記載しています。

<機械工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 筆記試験(数学)

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

(2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。
ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。
出題内容は機械工学分野に関連したものです。

(3) 口述試験 (10分)

機械工学分野に関連した試問を行います。

(4) 出願書類の審査

<電気電子工学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験 (口頭発表時間10分、試問時間15分)

志望理由及び入学後の研究計画について、10分間で口頭発表してください。口頭発表の内容及び関連する基礎学力・専門知識等に関して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<メカトロニクス工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験時間を短縮する場合があります。)

(1) 筆記試験 (数学)

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

(2) 筆記試験 (専門科目)

材料力学、機械力学、プログラミング、デジタル回路、制御工学の5分野のうちから2分野を試験場で選択してください。

(注) 筆記試験において、定規・コンパス・電卓は使用できません。鉛筆 (またはシャープペンシル) および消しゴムのみ使用できます。

(3) 口述試験 (試問時間15分)

志望理由書と研究計画書及び関連する事項に関して試問します。

(4) 出願書類の審査

<土木環境工学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験 (口頭発表時間10分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<応用化学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験 (口頭発表時間5分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<先端材料理工学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

口述試験では、願書に記載された志望理由と入学後の研究計画について口頭発表してもらい、発表内容に直接関係する事柄と、発表内容に関連する物理と化学の基礎知識について試問します。事前に以下の準備をしておいてください。

- ・口頭発表で使用するノートパソコン(アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるもの)を持参してください。
- ・プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。
- ・口頭発表用のバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

(2) 出願書類の審査

<流域環境科学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。なお、本プログラムでは、海外に在住あるいは長期滞在されている方に限り、出身大学の指導教員又は所属長の推薦書を提出できる方について、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

(1) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 筆記試験（基礎及び専門科目）

出願時に下記の科目群Ⅰ～Ⅲのうちから1つの科目群を選択してください。

科目群Ⅰ：化学A、化学B

科目群Ⅱ：物理、機械材料学

科目群Ⅲ：物理、電磁気学・電子物性

(注)

1. 化学Aの出題内容は、熱力学、相平衡、化学反応速度、原子と分子の電子構造などです。
2. 化学Bの出題内容は、分光・回析、結晶構造、無機材料の電子構造と性質、電解質溶液、化学電池などです。
3. 物理の出題内容は、力と運動の分野で、簡単な微分方程式の内容を含みます。
4. 機械材料学の出題内容は、結晶の構造と欠陥、状態図と組織、材料の変形と加工などです。
5. 電磁気学・電子物性の出題内容は、静電界・静磁界、電磁誘導、エネルギーバンド、キャリアの運動などです。
6. 関数電卓を持参してください。

(2) 筆記試験（外国語）

試験科目は英語とします。

ただし、外国人（留学生）に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

(3) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表及び発表内容に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

(4) 出願書類の審査

【配点】

コース等名	筆記試験		口述試験	出願書類	合計
機 械 工 学 コ ー ス	(数学) 100	(外国語) 100	適・否	(成績証明書) 適・否 ※	200
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	/		適・否	(成績証明書) 適・否 ※	
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	(基礎及び専門科目) 200	(外国語) 100	100	(成績証明書) 適・否	400

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	合計
応 用 化 学 コ ー ス	100	適・否 ※	100
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	100	適・否 ※	100

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース等名	筆記試験		口述試験	英語外部試験 の成績以外の 出願書類	英語外部試験 の成績	合計
メカトロニクス工学コース	(数学) 100	(専門科目) 100※	適・否	(成績証明書) 適・否	50	250
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	/		60	30	10	100
流域環境科学特別教育プログラム	/		60	30	10	100

※ 1分野につき50点満点、合計100点満点として扱います。

8 試験日時及び場所

試験開始20分前まで（土木環境工学コースと流域環境科学特別教育プログラムは30分前まで）に、(2)の集合場所に集合してください。

※遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時刻は変更しません。

(1) 試験日時

試験日：令和2年2月1日（土）

コース等名	試験時間	試験科目
機 械 工 学 コ ー ス	13時30分～15時00分	筆記試験（数学及び外国語）
	15時40分～	口述試験
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	13時30分～15時30分	筆記試験（数学及び専門科目）
	15時45分～	口述試験
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	14時00分～	口述試験
応 用 化 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	14時00分～	口述試験
グリーンエネルギー変換工学 特別教育プログラム	9時30分～11時30分	筆記試験（基礎及び専門科目）
	11時40分～12時30分	筆記試験（外国語）
	13時30分～	口述試験

(2) 集合場所

詳細については各コース等から別途連絡いたします。

コース等名	集合場所	試験会場
機 械 工 学 コ ー ス	A-1号館1階 A1-11教室	A1-11教室
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	T-1号館 3階ラウンジ	T1-31教室
メカトロニクス工学コース	A-2号館1階 A2-12教室	A2-12教室
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	B-3号館2階 T-69教室	B3-203 CE会議室
応 用 化 学 コ ー ス	総合研究棟 1階ロビー	総合研究棟内

コース等名	集合場所	試験会場
先端材料理工学コース	T-1号館2階 T1-21教室	T1-21教室
流域環境科学特別教育プログラム	B-1号館3階 B1-333教室	B1-336教室
グリーンエネルギー変換工学 特別教育プログラム	B-2号館1階 B2-11教室	B2-11教室

9 その他

前年度以前の筆記試験問題は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission>) で公表しています。

社会人特別選抜学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

コース等名	募集人員
機械工学コース	若干人
電気電子工学コース	若干人
メカトロニクス工学コース	若干人
土木環境工学コース	若干人
応用化学コース	若干人
先端材料理工学コース	若干人
流域環境科学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等において、令和2年3月（令和2年10月入学希望者は、令和2年9月）までの間に、2年以上の勤務経験を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】上記の(9)または(10)により入学を志願しようとする方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について12月11日(水)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、12月13日（金）までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

問い合わせ先： 教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

3 出願手続

(1) Web出願の事前準備（以下の①～⑥を準備してください）

- ①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット端末
- ②A4サイズの印刷が可能なプリンター
- ③利用可能なメールアドレス（設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可してください）
- ④顔写真の画像ファイル
- ⑤374円分の郵便切手（受験票送付用） *日本国外から出願する方は不要
- ⑥出願書類の提出に必要となる市販の角型2号封筒（24cm×33.2cm） *日本国外から出願する方は不要

(2) 出願方法

- ① Web出願サイトから、利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

- ② 入学検定料の支払い

↓

- ③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※ 出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合、出願を受け付けすることはできません。

(3) Web出願サイト

以下のURLからアクセスし、画面の案内に従って、利用者情報・出願情報の登録をしてください。

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

(4) 入学検定料の支払いについて

入学検定料 30,000円

1. 「検定料の支払い」画面で以下の①～④の中から支払方法を選択してください。日本国外から出願する方の支払方法は、クレジットカードのみです。支払方法によって、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。
 - ① コンビニエンスストア、② 金融機関ATM (Pay-easy)、③ ネットバンキング、④ クレジットカード
2. 全ての支払方法に対して、別途必要な手数料は志願者負担になります。
3. いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」・「平成28年熊本地震」・「平成30年7月豪雨」・「平成30年北海道胆振東部地震」・「令和元年台風第15号及び第19号」による被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へお問い合わせください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) で確認してください。

(5) Web出願に関する問い合わせ先

教学支援部入試課 電話：055-220-8046

E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※ 土・日曜日、祝日及び年末年始（12/28～1/5）は、お問い合わせの対応ができません。

4 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- ・ 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・ 「2 出願資格」の(2)、(7)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	研究計画書	本学ホームページから【研究計画書(様式3※)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。
5	研究業績調書及び研究業績を証明する書類	卒業論文、学術論文等を有する方のみ、本学ホームページから【研究業績調書(様式4※)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。 なお、【研究業績調書(様式4※)】に記載した内容を証明する書類(学術論文、研究報告書、特許、著書等、代表的なもの10編以内)を添付してください。
6	英語外部試験の成績	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の写しを提出してください。ただし、いずれも平成30年1月以降に受験したものに限り、 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate または Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Examinee Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TEST SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙(受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本国内から出願をする方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼り付けてください。郵便切手は過不足なく用意してください。 ▪ 日本国外から出願をする方 郵便切手は必要ありません。Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】のみ提出してください。
8	住民票 *国籍が日本国以外の方のみ	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 住民登録をしている方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ▪ 住民登録をしていない方 旅券の写し(顔写真のページと、既に来日している場合は入国日が分かるページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※様式3と様式4は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>大学院入試>募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

5 出願期間等

(1) 出願期間

令和元年12月30日(月)～令和2年1月9日(木) 17時まで *期間内必着

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受け付けすることはできません。

(2) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】で、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

郵送する場合は、郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

① 日本国内から出願する方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角型2号封筒(24cm×33.2cm)に貼ってください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の平日(土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)を除く)9時から16時30分の間に教学支援部入試課窓口に出してください。

② 日本国外から出願する方

EEMSやDHL等の確実に届く方法で本学へ郵送してください。その際、Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を同封してください。

(3) 出願書類の提出先・問い合わせ先

教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

※ 土・日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/5)は、お問い合わせの対応ができません。

【出願書類の提出に際しての留意事項】

1. 出願に先だって、**希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。**
2. 出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
3. 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所・連絡先以外の出願情報等の登録内容の変更は認めません。また、出願書類の返還及び変更も認めません。
4. 出願情報等に事実との相違が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
5. 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課に照会してください。

6 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究業績(学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等)、口述試験(研究計画書に基づく内容等についての試問)の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

また、口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用いて口頭発表を行ってください。

下記のコースにおいては、次の事項に注意してください。

<先端材料理工学コース>

口述試験においては、アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用いて口頭発表してください。また、発表用ファイルのバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

・口述試験時間

コース等名	口頭発表時間	試問時間
機 械 工 学 コ ー ス	10分	5分
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10分	10分
メカトロニクス工学コース	10分	15分
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	10分	5分
応 用 化 学 コ ー ス	10分	10分
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	13分	7分
流域環境科学特別教育プログラム	10分	5分

【配点】

コース等名	口述試験	出願書類	合 計
機 械 工 学 コ ー ス	100	適・否※	100
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	適・否	適・否※	
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	適・否	適・否※	
応 用 化 学 コ ー ス	100	適・否※	100
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	100	適・否※	100
流域環境科学特別教育プログラム	適・否	適・否※	

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	英語外部試験 の成績	合 計
メカトロニクス工学コース	100	適・否	50	150

7 試験日時及び場所

試験開始20分前まで（土木環境工学コースと流域環境科学特別教育プログラムは30分前まで）に、
（2）の集合場所に集合してください。

※遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

（1）試験日時

試験日：令和2年2月1日（土）

コース等名	試験時間	試験科目
機 械 工 学 コ ー ス	15時40分～	口述試験
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	13時30分～	口述試験
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	14時00分～	口述試験
応 用 化 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	13時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	14時00分～	口述試験

（2）集合場所

志願者には、各コース等の責任者から別途連絡します。

8 その他

外国人（留学生）の方は、推薦特別選抜試験または一般選抜試験を志願してください。

共 通 事 項

1 合格者の発表

合格者の発表は、令和2年2月7日（金）15時頃、甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に合格者の受験番号を掲示するとともに、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp>) にも掲載します。（電話等による合否の問い合わせには応じられません。）

なお、合格者には合格発表当日に、合格通知書を郵送します。

2 入学時期

令和2年度追加学生募集志願者は、入学時期を選択できます。出願情報の登録時に、令和2年4月（前期）又は令和2年10月（後期）入学のいずれかから、希望する入学時期を選択してください。

また、出願書類の受理後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月（後期）入学の手続等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

3 入学手続

(1) 入学手続期間

入学時期	入学手続期間
令和2年4月入学	令和2年3月9日（月）～3月15日（日）
令和2年10月入学	令和2年9月11日（金）

【留意事項】

- ① 指定された入学手続期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものととして取り扱います。
- ② 入学手続には、本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学金 282,000円（予定）

入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。

4 授業料

令和2年4月入学者は、前期分267,900円（年額535,800円）の予定です。

令和2年10月入学者は、後期分267,900円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

5 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

6 長期履修制度

本修士課程（工学専攻）では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制限される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度の手続等については、以下の申請期限の約1か月前までに、工学域支援課教務グループ大学院担当（電話：055-220-8730）までお問い合わせください。

【申請期限】

- (1) 4月（前期）入学希望者2月末日
- (2) 10月（後期）入学希望者8月末日

7 個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、「独立行政法人等の保有する個人情報保護の法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部または一部を提供することがあります。

8 その他

- (1) Web出願サイトの登録において、志願者連絡先には、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会・通知等を確実に受信できる住所・電話番号を入力してください。なお、出願後、連絡先に変更があった場合は、教学支援部入試課あてに速やかに届け出てください。
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話：055-220-8053）へ問い合わせてください。

コース内容

大学院医工農学総合教育部修士課程 工学専攻 コース内容

コース名	指 導 教 員	主 な 研 究 題 目	主 な 授 業 科 目
機 械 工 学 コ ー ス	教 授 藤 森 篤	システムのモデリングと制御、移動ロボット	熱工学特論 機械力学・制御特論 流体力学特論 材料力学特論 加工学特論 機械材料学特論 機械システム工学特論
	教 授 武 田 哲 明	熱・物質移動現象に関する研究	
	教 授 中 山 栄 浩	金属材料のマイクロ組織と材料特性に関する研究	
	教 授 岡 澤 重 信	計算工学とその自動車工学への適用に関する研究	
	教 授 伊 藤 安 海	医療・福祉及び安全・安心に資する技術・機器の開発	
	准教授 角 田 博 之	数値シミュレーションによる乱流解析	
	准教授 野 田 善 之	動的システムの解析と制御に関する研究	
	准教授 山 本 義 暢	流れの高精度予測とモデリング	
	准教授 鳥 山 孝 司	熱エネルギーの有効利用法に関する研究	
	准教授 青 柳 潤 一 郎	宇宙機搭載用ロケットの物理現象解明および性能評価	
	准教授 孕 石 泰 丈	画像情報を用いた加工・計測の研究	
	准教授 舩 谷 俊 平	燃焼工学および可視化計測に関する研究	
	准教授 鍵 山 善 之	生体解析および術前計画操作アシストを対象とする外科手術支援研究	
准教授 浮 田 芳 昭	マイクロシステムとナノマイクロ計測技術に関する研究		

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
電気電子工学コース	教授 内山 智香子	ナノシステムにおける量子輸送制御、ミクロな熱機関に関する研究	光波工学特論 量子工学特論 電子デバイス工学特論 結晶工学特論 信号システム工学特論 回路工学特論 計測工学特論 発送電工学特論 パワー半導体モジュール工学特論
	教授 大木 真	信号処理、特に多次元及び適応信号処理システムの理論と応用	
	教授 垣尾 省司	弾性表面波デバイス、光導波デバイス	
	教授 豊木 博泰	交通流やネットワークの非平衡ダイナミクス	
	教授 埴 雅典	通信用途向け各種光信号処理デバイス・システム、医用信号処理	
	教授 矢野 浩司	パワー半導体デバイスの設計及び作製	
	教授 鍋谷 暢一	化合物半導体の結晶成長と物性	
	准教授 宇野 和行	レーザー装置の開発とレーザー加工・レーザー医療の研究	
	准教授 小野島 紀夫	高性能な有機トランジスタや有機太陽電池の作製	
	准教授 佐藤 隆英	集積回路 (LSI) 設計、電源回路設計	
	准教授 白木 一郎	走査型プローブ顕微鏡法によるナノ構造解析と物性計測	
	准教授 關谷 尚人	超伝導体を用いた高周波デバイスの開発	
	准教授 チェン リチュイン	質量分析のための新規イオン化法の開発及び応用研究	
	准教授 二宮 啓	質量分析・表面分析用の新規イオンビーム銃の研究開発	
	准教授 本間 聡	光機能デバイス、光スイッチ・メモリの開発と応用	
	准教授 村中 司	微細加工による化合物半導体機能性ナノ構造の作製と応用	
	助教 中村 一彦	無線通信システム、通信用信号処理技術	
助教 橋本 一成	ナノ系の量子輸送制御の理論研究		
助教 山本 真幸	半導体スイッチング素子の設計と評価		

注意：電気電子工学コースを担当する教員の一部は、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
コンピュータ理工学コース	<p>教授 岩 沼 宏 治</p> <p>教授 大 淵 竜太郎</p> <p>教授 小 澤 賢 司</p> <p>教授 郷 健太郎</p> <p>教授 高 橋 正 和</p> <p>教授 福 本 文 代</p> <p>教授 茅 暁 陽</p> <p>教授 美 濃 英 俊</p> <p>准教授 安 藤 英 俊</p> <p>准教授 小 俣 昌 樹</p> <p>准教授 木 下 雄 一 朗</p> <p>准教授 鈴 木 智 博</p> <p>准教授 豊 浦 正 広</p> <p>准教授 鍋 島 英 知</p> <p>准教授 服 部 元 信</p> <p>准教授 渡 辺 喜 道</p>	<p>離散データマイニング、定理自動証明、人工知能基礎</p> <p>2次元画像や3次元形状の解析・認識・検索、知的視覚情報処理</p> <p>音響信号処理、聴覚情報処理、視聴覚感性情報処理</p> <p>インタラクティブシステムのデザイン</p> <p>ソフトウェア工学、高信頼性ソフトウェア</p> <p>自然言語処理、計算言語学、情報検索</p> <p>画像処理、CG、VR/AR、可視化</p> <p>並列処理、セキュリティ、コンピュータネットワーク</p> <p>分散協調型システム及び対話的マルチメディア技術</p> <p>ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究</p> <p>感性情報処理、ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究</p> <p>高性能計算</p> <p>画像・映像処理、教育工学、デジタルファブリケーション</p> <p>人工知能、知識表現と推論、制約充足処理系に関する研究</p> <p>ニューラルネットワークに関する研究</p> <p>ソフトウェア開発に関する研究</p>	<p>大規模離散構造処理特論</p> <p>ソフトウェア工学特論</p> <p>並列コンピューティング特論</p> <p>インターネット工学特論</p> <p>機械学習特論</p> <p>ユーザ中心設計学特論</p> <p>デジタル音声処理特論</p> <p>言語・画像メディア処理特論</p> <p>コンピュータビジョン特論</p>

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
メカトロニクス工学コース	教授 石井孝明	強力超音波利用アクチュエータに関する研究	メカトロニクス工学特論 ロボット工学特論 人間工学特論 組込みシステム設計特論 材料工学特論 アクチュエータ工学特論 電磁波工学特論 通信制御ネットワーク特論 医療・福祉機器特論
	教授 小谷信司	知能移動ロボットの誘導とビジョンによる環境理解	
	教授 鈴木良弥	情報検索、自然言語処理、音声言語理解	
	教授 寺田英嗣	ロボットシステム及びアクチュエータに関する研究	
	教授 森澤正之	インテリジェントセンサーおよび味覚情報処理	
	准教授 石田和義	摩擦・摩耗・潤滑に関する研究	
	准教授 岡村美好	ユニバーサルデザイン、デザイン科学	
	准教授 北村敏也	空気流による発生音および低周波騒音に関する研究	
	准教授 金蓮花	光計測・光エレクトロニクスの基礎研究及びその応用	
	准教授 清水毅	画像を応用した形状計測技術の開発	
	准教授 丹沢勉	ステレオビジョンによる環境理解	
	准教授 平晋一郎	微細加工における加工精度の向上及び加工機構の解明に関する研究	
	准教授 西崎博光	音情報処理及び音声言語情報処理	
	准教授 牧野浩二	人間ロボット協調制御に関する研究	
	助教 鈴木裕	医用生体工学におけるエレクトロニクス及び信号処理技術の応用	
	助教 渡辺寛望	画像処理によるウェアラブル移動支援	
助教 北野雄大	腕部装着型支援ロボットの開発		

コース名	分野名	指導教員	主な研究の題目	主な授業科目
土木環境工学コース	シビルマネジメント工学	教授 鈴木 猛 康	災害に関わる地域マネジメント手法、防災への ICT 適用の研究	災害マネジメント工学 土木エンジニアのための力学 社会基盤維持管理工学 環境保全工学 まちづくり工学
		教授 金子 栄 廣	バイオマス系廃棄物の利活用、生態毒性に基づく環境リスク評価	
		教授 末次 忠 司	河川災害の防災・減災・危機回避に関する研究	
		教授 小林 正 樹	高次元信号処理技術を利用した制御に関する基礎研究	
		教授 齊藤 成 彦	構造物の耐震性および耐久性に関する研究	
		教授 小須田 雅	ロジスティクスのためのデータサイエンスに関する研究	
		教授 森 一 博	生物環境工学的手法による環境保全と資源生産	
		准教授 後藤 聡	地盤災害（斜面災害、液状化災害等）の防災・減災に関する研究	
		准教授 石井 信 行	景観デザイン、構造デザイン、地域プロデュースに関する研究	
		准教授 武藤 慎 一	安全・安心なまちづくりのための事業評価手法の開発	
		准教授 秦 康 範	災害被害を軽減し安全・安心を実現する社会システムに関する研究	
		准教授 吉田 純 司	構造物の性能予測および健全度評価に関する研究	
		助教 宮本 崇	地震工学へのデータサイエンスの応用に関する研究	
		助教 山浦 浩 太	ホモロジー代数的手法を用いた多元環の研究	

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
応用化学コース	教授 和田 智志	ナノ構造制御による環境調和型電子セラミックスの創製	有機化学特論 無機化学特論第一 無機化学特論第二 分析化学特論 物理化学特論 高分子化学特論 エネルギー量子化学特論 燃料電池設計科学特論
	教授 田中 功	機能性酸化物単結晶の育成技術開発と新機能創成	
	教授 熊田 伸弘	新規無機化合物の合成と結晶構造解析	
	教授 入江 寛	エネルギー、環境材料の創製と評価	
	教授 奥崎 秀典	導電性高分子を用いたプラスチックエレクトロニクス	
	教授 宮武 健治	燃料電池用高分子電解質の研究	
	教授 武井 貴弘	機能性無機多孔体の合成	
	教授 内田 誠	燃料電池用高性能電極の設計	
	教授 柳 博	新機能性酸化物半導体の探索と電子物性評価	
	教授 犬飼 潤治	固体表面の構造・電子状態と反応性の解析	
	教授 米山 直樹	光機能性無機材料の合成と結晶構造解析	
	特任教授 宮尾 敏広	燃料電池用ナノ構造触媒の研究	
	特任教授 柿沼 克良	燃料電池用ナノ材料の合成と物性解析	
	准教授 桑原 哲夫	機能性有機色素の合成と超分子材料の創製	
	准教授 小幡 誠	機能性高分子の合成と応用	
	准教授 米崎 功記	有機電荷移動塩の単結晶育成と物性探索	
	准教授 阪根 英人	無機化合物の局所構造解析とその特性評価	
	准教授 野原 慎士	燃料電池用電極触媒の研究	
	准教授 綿打 敏司	赤外線集中加熱を用いた単結晶育成技術の開発	
	准教授 宮嶋 尚哉	表面の制御とその応用に関する研究	
准教授 上野 慎太郎	微構造制御に基づく高機能セラミックス複合材料の開発		
准教授 高嶋 敏宏	人工光合成に向けた多電子移動触媒の設計		
准教授 山中 淳二	透過電子顕微鏡による材料組織解析		
助教 植田 郁生	微量揮発性有機化合物のクロマトグラフィー分析に関する研究		
助教 長尾 雅則	超伝導体(および機能性材料)の単結晶育成とその物性評価		

注意：応用化学コースを担当する教員の一部は、先端材料理工学コースまたはグリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
先端材料理工学コース	教授 熊田伸弘	新しい無機化合物の探査と結晶構造解析	物性物理学特論 量子デバイス特論 フォトニクス特論 エレクトロニクス特論 量子材料科学特論 機能性材料開発特論 固体構造化学特論
	教授 近藤英一	マイクロ・ナノシステム材料プロセッシング	
	教授 武井貴弘	無機-有機複合多孔体の合成・評価	
	教授 田中功	機能性酸化物単結晶の育成と新機能創成	
	教授 張本鉄雄	非線形光学とレーザー工学	
	教授 堀裕和	量子エレクトロニクス、光と物質の相互作用	
	准教授 有元圭介	SiGe系半導体デバイスに関する研究	
	准教授 石川陽	光物性理論、量子光学理論	
	准教授 居島薫	スピン偏極走査プローブ顕微法	
	准教授 小川和也	光機能性有機材料の開発	
	准教授 加藤初弘	マイクロデバイスの動作解析と高機能化	
	准教授 酒井優	ナノ材料の光観察と量子効果	
	准教授 佐藤哲也	極低温化学反応の解明と次世代薄膜太陽電池創成及び環境負荷低減	
	准教授 東海林篤	半導体の光物性実験	
	准教授 山中淳二	電子顕微鏡による無機材料の構造解析	
	准教授 米崎功記	新しい無機化合物の探査	
准教授 綿打敏司	赤外線集中加熱を用いた単結晶育成技術の開発		
助教 長尾雅則	超伝導体(および機能性材料)の単結晶育成とその物性評価		
助教 内山和治	走査型プローブ顕微鏡によるナノ光電子物性計測		

注意：先端材料理工学コースを担当する教員の一部は、応用化学コースまたはグリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

プログラム名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
流域環境科学特別教育プログラム	教授 風間 ふたば	陸水水質管理工学と低炭素型水処理方法の開発	国際協力論
	教授 西田 継	流域の物質循環・健康・生活	環境統計解析
	教授 石平 博	水文モデルの開発、寒冷圏の水文学に関する研究	地理情報システム
	准教授 原本 英司	水環境中における健康関連微生物の動態解析	暮らしと健康
	准教授 遠山 忠	環境負荷の低減、廃水・廃棄物からの資源・エネルギー回収	流域計画論
	准教授 相馬 一義	人間活動を考慮した気象・水循環モデル開発と水災害予測への活用	水文水資源学特論
	助教 馬籠 純	水文・水資源モデリングおよび衛星・地理情報による環境評価	陸水水質評価特論
	助教 中村 高志	環境同位体を用いた水文解析および水質評価	環境浄化技術特論

注意：流域環境科学特別教育プログラムを担当する教員は、各々の専門に応じて他のコース・専攻でも指導します。また、他のコース・専攻を担当する教員も、各々の専門に応じて流域環境科学特別教育プログラムでも指導します。

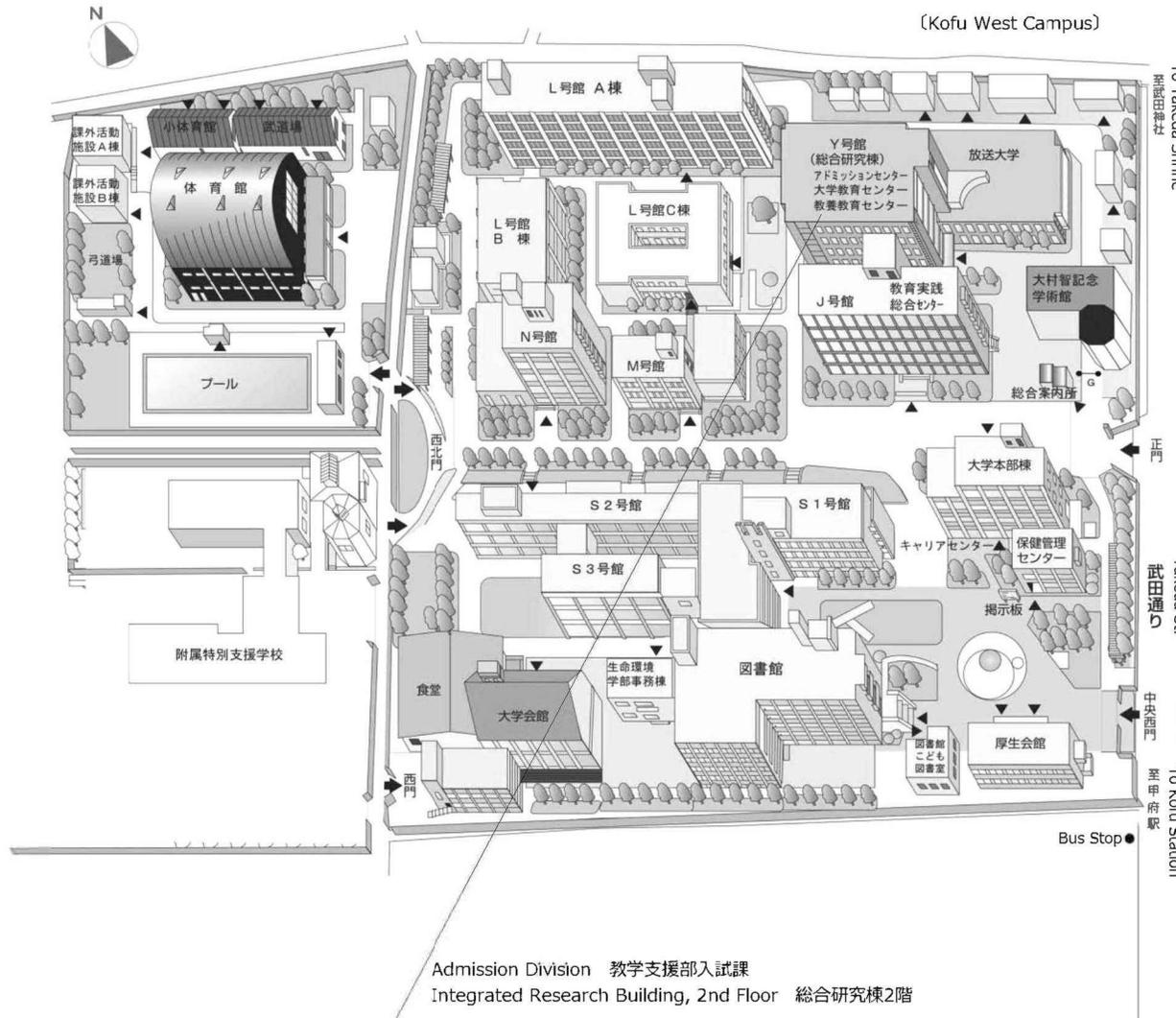
プログラム名	分野名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	燃料電池	教授 内田 誠	燃料電池用高性能膜／電極接合体の設計	燃料電池設計特論 物理化学特論 太陽エネルギー変換工学特論 高分子材料化学特論 表面・界面科学特論
		教授 宮武 健治	燃料電池用高分子電解質の合成と物性評価	
		准教授 野原 慎士	固体高分子形燃料電池用電極触媒の研究	
		特任教授 飯山 明裕	先端的自動車用固体高分子形燃料電池	
		特任教授 柿沼 克良	燃料電池用ナノ材料の合成と機能解析	
		助教 三宅 純平	燃料電池用高分子電解質の設計	
	太陽エネルギー	教授 入江 寛	太陽エネルギー変換材料、環境材料の創製と評価	
		教授 柳 博	太陽エネルギー変換用酸化半導体の合成と物性評価	
		准教授 高嶋 敏宏	人工光合成に向けた多電子移動触媒の設計	
	エネルギー変換材料	教授 和田 智志	環境調和型圧電セラミックスの創製と機能評価	
		教授 田中 功	機能材料単結晶の育成と新機能創成	
		教授 熊田 伸弘	新規無機化合物の合成と特性評価	
		教授 奥崎 秀典	導電性高分子を用いたプラスチックエレクトロニクス	
教授 犬飼 潤治		エネルギー変換材料の表面構造と電子状態の解析		
新エネルギー工学	教授 近藤 英一	マイクロ・ナノ材料のプロセッシングと評価		
	教授 武井 貴弘	機能性無機有機複合体の作製と評価		
	特任教授 宮尾 敏広	水素製造用ナノ構造触媒の研究		

注意：グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを担当する教員は、各々の専門に応じて他のコースでも指導します。

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図
University of Yamanashi, Kofu Campus

（甲府西キャンパス）
（Kofu West Campus）

（甲府東キャンパス）
（Kofu East Campus）

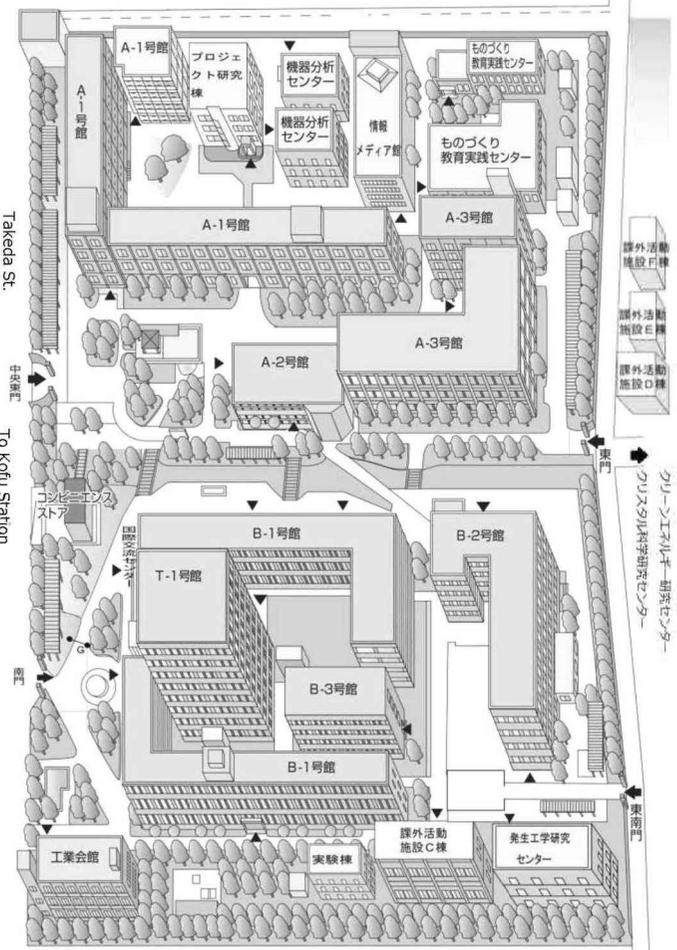
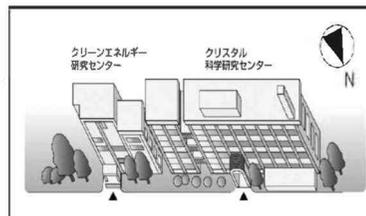


To Takeda Shrine
新田神社

Takeda St.
武田通り

To Kofu Station
甲府駅

Admission Division 教学支援部入試課
Integrated Research Building, 2nd Floor 総合研究棟2階



クリーンエネルギー研究センター
クリーンエネルギー研究センター

山梨大学甲府キャンパス周辺図

University of Yamanashi, Kofu Campus Location Map

甲府駅下車、北口から徒歩約15分

甲府駅下車、北口からバス(武田神社、積翠寺行き)で約5分 山梨大学下車

Take the JR train to Kofu Station and follow the signs to the North Exit.

The campus is about a **15 minutes** walk from Kofu Station.

Take the JR train to Kofu Station. From the bus terminal at the North Exit, take

a bus bound either for “Takeda Shrine,” or “Sekisuiji Temple. After about 5 minutes, get off at the University of Yamanashi Bus Stop.



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

As there is no parking area available on the campus property, please use public transportation.

本学所定の様式

(様式1～5)

志 望 理 由 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

*この様式に基づいて、パソコンで作成してください。

(注) ※印欄は、大学側で記入します。

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の記載内容を、図等を含み指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

【コンピュータ理工学コース】

「これまで大学等で興味をもった専門的事項・技術」及び「入学後に研究してみたい分野の内容」について
4枚程度

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の各コースが求める記載内容を、図等を含み各コースが指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

【電気電子工学コース】

「入学後の研究計画」について4枚以内。関連する研究動向、解決すべき課題、研究の目的・位置づけ、具体的な研究計画・方法、準備・進行状況について記載すること。

【メカトロニクス工学コース、土木環境工学コース、流域環境科学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【応用化学コース】

「卒業研究の準備・進行状況」及び「入学したら何を研究したいか」について2枚程度

【先端材料理工学コース】

「入学したら何を研究して何が分かりたいか、あるいは何を実現したいか」と「卒業研究を含めてその現在までの準備進行状況」について4枚程度

【グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「卒業研究内容」について4枚程度

様式3 (社会人特別選抜)

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の各コースが求める記載内容を、図等を含み各コースが指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

【機械工学コース、土木環境工学コース、応用化学コース、流域環境科学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【メカトロニクス工学コース】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚以内

【電気電子工学コース】

「入学後の研究計画」について4枚以内。関連する研究動向、解決すべき課題、研究の目的・位置づけ、具体的な研究計画・方法、準備・進行状況について記載すること。

【先端材料理工学コース】

「これまでの実社会での経験を踏まえて、入学したら何を研究したいかと、その準備、進行状況」について4枚程度

(注) ※印欄は、大学側で記入します。

研究業績調書

記入例

NO.1

			受験番号	※	氏名	山梨太郎
学術論文、研究報告、学会等発表、卒業論文、著書、特許等の名称 (全著書の氏名 (記載順))	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (150字以内で記載してください。)			
I 学術論文						
1 ○○○○○○○ (山梨太郎、山梨一郎)	2013.1	○○学会誌 Vol. No. PP. ~				
2 ○○○○○○○ (武田三郎、山梨太郎)	2014.7	〃				
:						
5 ○○○○○○○ (学位論文 (修士論文))	2015.3	○○大学				
II 研究報告、各種計画、特許など						
1 ○○○○○○○ (山梨太郎、武田三郎)	2017.5	○○会社技術報告 Vol. No. PP. ~ ○○年報 PP. ~				
:						
III 口頭発表						
1 ○○○○○○○ (甲府次郎、山梨太郎)	2013.12	○○学会○○大会				
:						
IV 解説、総説						
1 ○○○○○○○ (武田三郎、山梨太郎)	2016.10	○○学会誌 Vol. No. PP. ~				
:						
V 著書 (共著、分担、訳書の別様を記すこと。)						
1 ○○工学ハンドブック (分担)	2017.2	○○出版 PP. ~				
:						
VI 受賞						
1 [受賞題目] (山梨太郎、甲府三郎)		○○学会○○賞				
2 [受賞題目] (山梨太郎、武田三郎)		○○社社長賞				
VII その他 (取得資格等)						
○○士 (建築部門)	2017.12	日本技術士会				

注1: 記載した内容を証明する別刷等 (コピー可) を必ず添付してください。

注2: ※印欄は、大学側で記入します。

研 究 業 績 調 書

NO.

			受験番号	※	氏名	
学術論文、研究報告、学会等発表、卒業論文、著書、特許等の名称 (全著書の氏名 (記載順))	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (150字以内で記載してください。)			

注1：記載した内容を証明する別刷等 (コピー可) を必ず添付してください。

注2：※印欄は、大学側で記入します。

令和2年度
山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程
工 学 専 攻

入学試験出願資格認定審査調書

※ 受験番号

山梨大学長 殿		年 月 日
(フリガナ) 氏 名 (旧姓)		男 ・ 女
生 年 月 日		年 月 日生 (歳)
国 籍		外国人 (留学生) 志願者は国籍を記入
志望する募集区分	追加募集	
志望する選抜区分	推薦特別選抜	一般選抜
志望するコース等名	社会人特別選抜	
志望するコース等名	コース・プログラム	
志望する分野	グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志望する方のみ記入	
希望指導教員名		
志 願 者 連 絡 先	住 所	〒
	メール アドレス	@
	電 話	— — (携帯) — —
勤務先又は職業	社会人特別選抜を志望する方のみ記入	
出 願 資 格	区 分	国立 ・ 公立 ・ 私立 (○で囲んでください。)
	大 学 等 名	
	学部・学科・専攻等名	
	卒業 (見込) 年月 修了 (見込) 年月	年 月 卒業 (見込) ・ 修了 (見込)
入学希望時期 (希望する入学時期を○で 囲んでください。)	令和2年4月入学	令和2年10月入学

- (注) 1. ※印欄は、大学側で記入します。
 2. 志望する選抜区分欄は、いずれかを○で囲んでください。
 3. 入学希望時期欄は、希望する入学時期を○で囲んでください。
 4. グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志望する方は、志望する分野を一つ記入してください。

履 歴

	年 月	事 項
<p style="text-align: center;">学 歴</p> <p>高等学校入学から記入してください。</p> <p>外国人（留学生）志願者は、小学校入学年月から記入してください。また、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。</p>	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年 月	入 学
	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
<p style="text-align: center;">職 歴</p>	年 月 年 月	
	年 月 年 月	
<p style="text-align: center;">資 格</p>	年 月	
	年 月	
賞 罰		

(注) 1. 学歴欄には卒業・修了見込みについても必ず記入してください。

2. 履歴中に虚偽の事項を記載、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが、入学後に判明した場合には、入学を取り消すことがあります。